

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市 下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 43 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと		終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 撫養町斎田・南浜・小桑島・大桑島の撫養排水区および撫養ポンプ場						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、撫養ポンプ場の耐震・耐津波対策事業に着手する。また、撫養排水区の長寿命化計画に基づき、優先度の高い管きよの長寿命化を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合	40	45	52	54	61	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国庫補助金(防災・安全社会資本整備交付金)を活用して、撫養ポンプ場の施設の耐震・耐津波化工事および老朽管きよの長寿命化工事を実施した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管きよ等の耐震化・長寿命化割合	60	61	80	85	85	%
	2	ポンプ場の耐震化・長寿命化割合	4	18	18	18	32	%
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合		33	42	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			93.3	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	50,000	0	50,000	0	322	100,322
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	37,000	0	37,000	0	0	74,000
		全体予算額	87,000	0	87,000	0	322	174,322
		決算額	58,099	0	58,100	0	285	116,484
		繰越額	28,901	0	28,900	0	1	57,802
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費	
		1.0	0.0	7,321	123,805			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	83,955	116,484	100,322	100,322	100,322
	うち一般財源	316	285	20,722	20,722	20,722
	人件費	7,234	7,321	7,321	7,321	7,321
	総事業費	91,189	123,805	107,643	107,643	107,643

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		施設の耐震化・長寿命化が図れたため、災害の未然防止や円滑な維持管理が図れる。
	効率性	B:概ね効率的だった		適正な維持管理を図るため、撫養ポンプ場の耐震・耐津波化と管きよの長寿命化を進める。
②成果に対する評価	指標名	ポンプ場および管きよ等の耐震化長寿命化割合		撫養ポンプ場の耐震・耐津波化工事および、管きよの長寿命化工事の進捗を図った。
	目標	45	%	
	実績	42	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		撫養ポンプ場の耐震・耐津波化工事および、管きよの長寿命化工事が進捗したためB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在、施設の長寿命化に着手しているのは撫養排水区のみである。今後は他の排水区である撫養西部排水区、高島排水区も同様に老朽化が課題となっている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	今後の維持管理にストックマネジメント計画が必要であるため、優先的に計画策定を行うとともに、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。			
	R2年度	今後の維持管理にストックマネジメント計画が必要であるため、優先的に計画策定を行うとともに、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。			